

昭和57年8月・昭和58年9月洪水

昭和57年は、7月後半から9月中旬にかけて梅雨前線、台風10号、13号、18号、19号と相次いで接近し、九州から東北地方に至る各地で大きな被害が発生しました。
特に長崎市では多数の犠牲者を出した「長崎大水害」が発生しており、天竜川においても大出水となりました。

昭和57年(1982年)8月3日

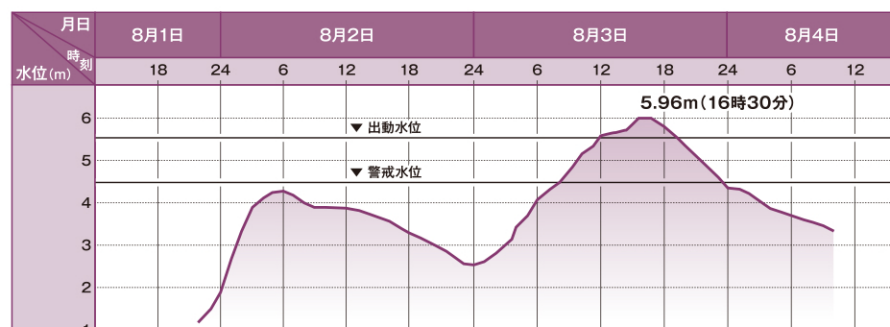
昭和58年(1983年)9月28日

昭和57年8月洪水

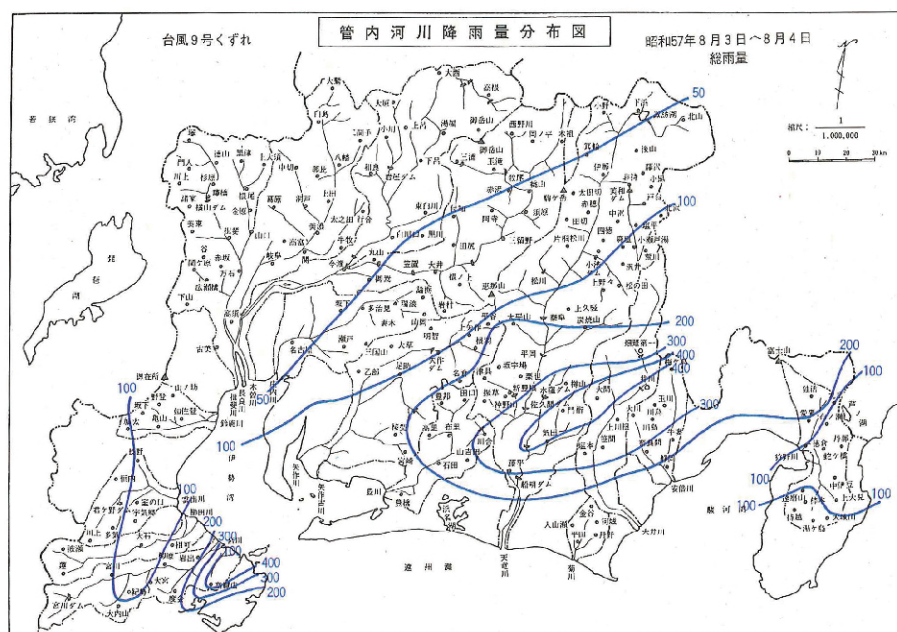
天竜川では、はん濫注意水位を超える出水となり、漏水や護岸、根固めなどの施設被害が発生。各地で決死の水防活動が行われた。

8月1～2日の台風10号による出水が下がりきらないうちに台風9号くずれの低気圧が停滞し、3日の0時頃から午前中にかけて豪雨となり再び水位が上昇、16時30分には鹿島で5.96mのピーク水位を記録する大出水となり、各地で決死の水防活動が実施されました。

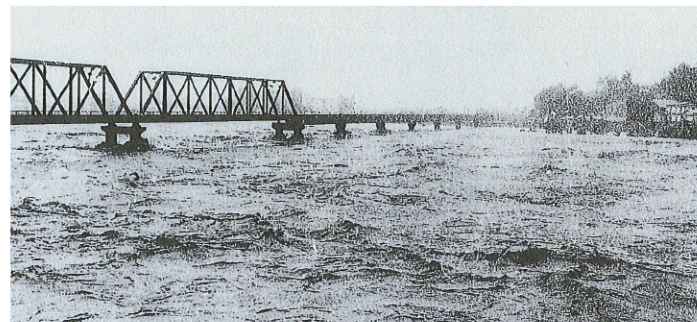
この大雨で、天竜川流中下流域では、浸水家屋419戸、浸水面積75.4haの被害が発生したほか、漏水や護岸、根固めの損傷など河川管理施設にも被害が発生しています。



昭和57年8月 鹿島地点水位



降雨量分布図



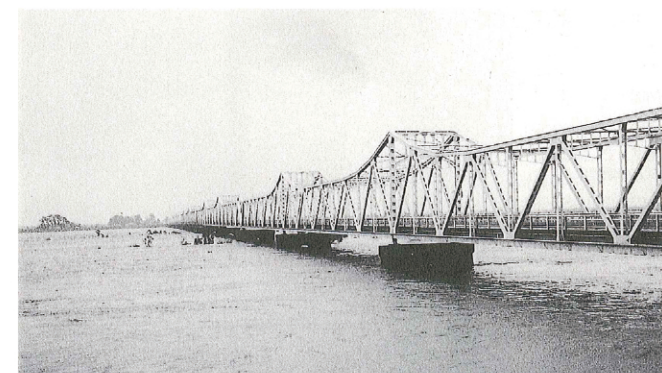
天竜浜名湖鉄道天竜川橋梁付近の出水状況



旧国道1号天竜川橋付近の出水状況



東海道新幹線橋梁付近の出水状況



掛塚橋付近の出水状況

水防団による決死の水防活動！



夜間での「月の輪工」実施状況(浜松市南区三新町)



「木流し工」実施状況(磐田市上野部)



「積み土のう工」実施状況(磐田市上野部)

昭和58年9月洪水

天竜川上流部長野県側では、観測史上最大の流量を記録し、各所で破堤や甚大な被害が発生。中下流部でも、死者行方不明者3名、損壊家屋4戸、浸水家屋85戸、56.3haの浸水被害が発生しました。